

研究に関する情報公開

<人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針>に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者の方の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、研究対象者若しくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。その場合でも、研究対象者の方に不利益が生じることはありません。

<研究課題名>

診断群分類包括評価（DPC）およびレセプト情報・特定健診等情報データベース（NDB）からみた骨盤臓器脱に対する外科的治療の現状

<研究機関・研究責任者名>

日本大学医学部附属板橋病院 泌尿器科 （研究責任者）吉澤 剛

<研究期間>

承認日 ～ 令和 6（西暦 2024）年 3月 31日

<研究の目的と意義>

わが国における診断群分類包括評価（Diagnosis Procedure Combination: DPC）およびレセプト情報・特定健診等情報データベース（National Database of Health Insurance Claims and Specific Health Checkups of Japan: NDB）をもとに、骨盤臓器脱に対する外科的治療の現状（各術式施行数の年次変化や手術成績の比較など）について検討します。本研究結果は、これから骨盤臓器脱の診断で外科的治療を受ける患者さんにとって有益な情報になります。

<利用する試料・情報の項目>

診療記録より、患者さんの背景（年齢や既往歴など）、骨盤臓器脱に対する術式、手術時間、周術期合併症の有無、術後の入院期間および費用などの情報が使用され、DPC および NDB に登録されています。

<対象となる方>

西暦 2019年 4月 1日～西暦 2021年 3月 31日の間に泌尿器科で骨盤臓器脱に対する外科的治療を受けた方。

<研究の方法>

毎年、厚生労働省が公表しているDPCおよびNDBをもとに、わが国における骨盤臓器脱に対する外科的治療の現状（各術式施行数の年次変化や手術成績の比較など）について統計解析を行います。

<お問い合わせ窓口>

日本大学医学部附属板橋病院（東京都板橋区大谷口上町 30-1）

泌尿器科 氏名：吉澤 剛

電話：03-3972-8111 内線：(医局) 2513 (PHS) 8390